

第49号

協会たより



公益社団法人
大正琴協会

〒460-0011
名古屋市中区大須3丁目8番20号 高栄ビル2F
TEL (052) 263-9633
URL <http://www.taishokoto.or.jp>
E-mail info@taishokoto.or.jp

理事長挨拶

理事長 鈴木禮子



日頃より公益社団法人大正琴協会に深いご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

私たちの生活に多岐にわたり様々な影響を及ぼしたコロナウイルス感染拡大に伴う規制も昨年やっと緩和され、インバウンド効果もあり世の中の動きが活発化されて参りました。

大正琴協会会員皆様方も練習や発表会、慰問演奏など大正琴を通じた活動も再開され、全国各地域で有観客での発表会も盛んに開催されているとのこと大変喜ばしく思っております。

公益社団法人大正琴協会もお陰様で昨年（令和5年）創立30年を迎えることができました。これも偏に会員皆様、協賛会員皆様方の多大なるご理解によるものと深く感謝申し上げます。

12月9日、名古屋市公会堂にて創立30年記念演奏会を開催し、ご出演者ならびにご来場者を含め約1,000名の方々と共に大盛況のうちに無事終えることができました。改めまして心より御礼を申し上げます。

当協会も大正琴普及発展に努力し精進して参りますので、今後とも引き続き会員皆様方のご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

公益社団法人大正琴協会 第11回通常総会議事録

- 総会の種類 第11回通常総会
- 開催日時 令和5年6月7日(水)
午後1時00分から午後1時33分
- 開催場所 (1)名古屋市中区大須三丁目8番20号
高栄ビル2階
公益社団法人大正琴協会事務所
(2)愛知県名古屋市昭和区御器所1丁目6番24号
(愛知会場)
(3)静岡県浜松市中区領家2丁目25番7号
(静岡会場)
(4)長野県駒ヶ根市赤穂14番地545
(長野会場)
- 出席社員の状況
議決権のある社員（正会員） 総数2,296名
総社員の議決権の数 2,296個
出席社員数（委任状による者を含む） 1,680名
この議決権の総数 1,680個
（内、代理権行使による議決権数 1,669個）
なお、愛知会場、静岡会場及び長野会場に存する社員は、WEB会議システム（インターネット回線を使用した音声と映像を伝達するシステム）により、本総会に出席した。
- 議長兼議事録作成者 理事長 鈴木禮子
- 出席役員等
出席理事 岩間昌一、岡本浩二
出席監事 遠島敏行、丹羽正夫
事務局 横澤美樹
なお、次の理事は、WEB会議システムにより、次の場所

において出席した。

- 愛知会場 加藤 誠、楠本好弘
- 静岡会場 鈴木禮子、竹森雅裕、中村敏裕、町田謙吾
- 長野会場 北林 篤、藤澤賢治、米山千秋
- 会議の目的事項並びに議事の経過の要領及び結果
 - 開会
定刻に、司会者の中村敏裕理事が挨拶。
岩間昌一副理事長が、開会を宣言。
 - 挨拶
鈴木禮子理事長が挨拶。
 - 議長選出
司会者が、議長選出方法を議場に諮ったところ司会者一任の声あり。よって、出席正会員中より、鈴木禮子理事長を本総会の議長としたいを旨諮ったところ、全員一致をもって選出し、同氏は、これを了承し、議長となった。
議長は、事務局に出席状況の報告をさせた。議長は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員の出席があったので、本総会が成立した旨を述べた。
また、議長が、WEB会議システム利用に際し、情報伝達の双方向性・即時性の確保がなされていることを確認した旨を述べた。
 - 議事録署名人選出
議長が、議事に先立ち、議事録署名人2名の選出について諮ったところ、議長に一任することにつき、全員異議なく賛成したので、議長は、藤澤賢治常務理事及び竹森雅裕常務理事を指名し、これを議場に諮ったところ全員異議なく承認した。被選任者らは、いずれもこれを承諾した。

(決議事項)

第1号議案 令和4年度事業報告の承認に関する件

議長が、竹森雅裕常務理事に本件議案の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに事業報告について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって承認可決した。

第2号議案 令和4年度計算書類の承認に関する件

議長が、事務局横澤美樹に本件議案の説明を求めた。事務局より、当期(令和4年4月1日～令和5年3月31日)における事業状況について、予め配布した計算資料をもとに詳しい説明があった。

引き続き監事を代表し、丹羽正夫監事が、理事の職務執行状況及び計算書類等を監査したところ、いずれも適正妥当であることを認めた旨を報告した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、下記書類につき、その可否を議場に諮ったところ、全員一致をもって原案どおり承認可決した。

1. 貸借対照表
2. 正味財産増減計算書
3. 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属書類
4. 財産目録

第3号議案 基本財産の一部取り崩しの承認に関する件

議長が、岩間昌一副理事長に本件議案の説明を求めた。

同副理事長より、予め配布した資料をもとに本件議案について詳しい説明がなされた。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その可否を議場に諮ったところ、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数の承認を得たことにより、定款第18条第2項の特別決議の要件を満たしており、原案どおり承認可決した。

(報告事項)

報告1 令和5年度事業計画の報告に関する件

議長が、岡本浩二常務理事に本件の説明を求めた。同氏は、予め配布した資料をもとに令和5年度事業計画について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。

報告2 令和5年度収支予算の報告に関する件

議長が、事務局横澤美樹に本件の説明を求めた。事務局は、予め配布した資料をもとに令和5年度収支予算について詳しく説明した。

以上につき議長が、議場に質問、意見を求めた後、その報告を了した。

8. 閉会

以上をもって、公益社団法人正琴協会第11回通常総会の議案の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を謝し、降壇した。そして、北林篤常務理事が閉会を宣した。

上記決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は次に署名押印する。

令和5年6月7日 公益社団法人正琴協会 通常総会

議長 鈴木禮子 ㊟

議事録署名人 藤澤賢治 ㊟

同 竹森雅裕 ㊟

令和5年度 予算書

正味財産増減計算書の要旨

自：令和5年4月1日 至：令和6年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
経常収益	21,961
〔 基本財算運用益〕	〔 1〕
〔 受取入会金、会費〕	〔 8,899〕
〔 事業収益〕	〔 6,340〕
〔 受取負担金〕	〔 6,721〕
〔 受取寄附金〕	〔 0〕
〔 雑収益〕	〔 0〕
経常費用	25,633
〔 事業費〕	〔 20,770〕
〔 管理費〕	〔 4,862〕
当期経常増減額	△ 3,672
一般正味財産期首残高	11,285
一般正味財産期末残高	7,613
正味財産期末残高	7,613

令和4年度 決算書

貸借対照表の要旨

令和5年3月31日現在

(単位：千円)

	科 目	金 額
資産の部	流 動 資 産	3, 6 1 1
	固 定 資 産	6, 2 1 5
	合 計	9, 8 2 6
負債及び情味財産の部	流 動 負 債	2 5 8
	負 債 合 計	2 5 8
	指 定 正 味 財 産	0
	一 般 正 味 財 産	9, 5 6 8
	負債及び正味財産合計	9, 8 2 6

令和4年度 大正琴寄贈・講師派遣事業報告書

大正琴普及活動として、次世代継承のため学校へ大正琴の寄贈・指導を行いました。多くの子供たちが、初めて楽器に触れ学んでくれました。新型コロナウイルス・インフルエンザ等の影響で学校行事等も自粛されているなか、大正琴普及活動を取り入れていただいた学校に感謝申し上げます。

令和4年度は大正琴の寄贈20台、参加校31校、473名の皆さんが受講されました。この受講をきっかけに大正琴を続けて学んでくれることを期待しています。

会員の皆様のご協力とともにこの事業を進めていきますので、どうぞよろしく願いいたします。

大正琴普及事業 令和4年度寄贈・講師派遣先

No	県	学 校 名	No	県	学 校 名
1	岩手県	住田町立世田米中学校	17	静岡県	島田市立島田第三小学校
2	秋田県	大館市立釈迦内小学校	18		島田市立島田第四小学校
3	福島県	いわき市立湯本第三小学校	19		静岡県立藤枝特別支援学校 焼津分校
4		いわき市立勿来第二小学校	20		長泉町少年少女サークル事業(はびはびサークル)
5	長野県	南木曾町立南木曾小学校	21	愛知県	知多市立東部中学校
6	富山県	射水市立東明小学校	22	三重県	津市立川口小学校
7		射水市立海老江児童センター	23		四日市市立大谷台小学校
8		上市町立白萩西部小学校	24		鈴鹿市立庄内小学校
9	石川県	志賀町立富来小学校	25	京都府	精華町立精北小学校
10		七尾市立天神山小学校	26		舞鶴市立中筋小学校
11		七尾市立和倉小学校	27	奈良県	王寺町立王寺南義務教育学校
12	静岡県	島田市立金谷小学校	28	広島県	広島県立戸手高等学校
13		島田市立六合小学校	29	熊本県	和水町立菊水小学校
14		島田市立五和小学校	30	大分県	大分東明高等学校
15		島田市立初倉小学校	31	沖縄県	南城市立大里北小学校
16		島田市立神座小学校			

令和5年度 普及功労者表彰

令和5年6月7日(水)に「公益社団法人大正琴協会第11回通常総会」が前年同様にオンライン形式で開催されました。これに伴い、総会後に執り行われる予定の「令和5年度普及功労者」の表彰式も残念ながら中止としましたが、次の受賞者17名には後日表彰状をお届けいたしました。

令和5年度 普及功労者

(順不同・敬称略)



齋 とき子
宮城県



下村 了
新潟県



伊礼 久子
沖縄県



大工廻 ふじ子
沖縄県



中村 尚子
沖縄県



澤本 芙久子
高知県



山口 秀子
愛知県



大久 あき子
宮城県



齋藤 八重子
宮城県



品堀 福子
宮城県



佐藤 ヒサ子
福島県



高田 信
福島県



朝倉 孝子
東京都



樋口 カツエ
東京都



平澤 れい子
長野県



大森 茂子
岡山県



立岡 隆子
岡山県



第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「大正琴の祭典」

令和5年11月12日(日)に石川県金沢市の「金沢市文化ホール」にて「大正琴の祭典」が開催されました。この催しは文化庁主催の第38回国民文化祭の事業の一環として実施し、大正琴の魅力と文化を伝承する目的で子供の部として「全国子供大正琴コンクール」と一般の部として地元石川県の大正琴愛好者を中心に全国から17グループが集い演奏しました。和装、洋装と華やかな衣装と北陸にまつわる曲目を取り入れた郷土愛の溢れた祭典でした。

次回は令和6年10月20日(日)岐阜県岐阜市の長良川国際会議場さらさ〜らメインホールでの開催を予定しております。



公益社団法人大正琴協会 創立30年記念演奏会

令和5年12月9日(土)に愛知県名古屋市の名古屋市公会堂大ホールにて「公益社団法人大正琴協会創立30年記念演奏会」が開催されました。平成5年設立時に掲げた「大正琴愛好家の活動を通じ、人々の多様な学習の普及・振興を図るとともに、演奏会、研修会の開催による大正琴に関する普及向上、人材育成事業を行い、もって生涯学習の振興に寄与すること」を活動の根源として現在に至りました。創立30年を迎え、大正琴の発祥地である名古屋市、そして歴史ある名古屋市公会堂（国の登録有形文化財）で27ステージの演奏が披露されました。

大正琴を広い世代に愛好される楽器、人と人とのコミュニケーションの担い手となるよう活動を進めていきます。



令和5年 子供大正琴コンクール

令和5年全国子供大正琴コンクール最終選考会は、第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「大正琴の祭典」の「子供の部」として開催しました。当コンクールの最終選考会には一次選考会を通過した計16個人・グループが出演しました。積み重ねてきた練習の成果を舞台上で披露する緊張感と演奏し終わった後に残る満足感や反省や悔しさは子供達の成長の糧になることでしょう。

各部門の最優秀演奏者・グループへ文部科学大臣賞が贈られました。(ソロ部門Bは該当なし)

「令和5年全国子供大正琴コンクール」審査結果

賞	部門	本選	曲名	氏名・グループ名
文部科学 大臣賞	ソロ部門A	○	ツィゴイネルワイゼン	吉富 心音
	アンサンブル部門A	○	シンフォニックマンボNO.5	クインテット ソナーレ
	アンサンブル部門B	○	「カルメン組曲」より	大正琴ファンタジー・琴音人「パニラ」
金賞	ソロ部門A	○	エンターティナー	今井 悠月
		○	契り	杉野 心咲
		○	合唱曲「絆」変奏	芹澤 郁奈
	ソロ部門B	○	歌劇「イーゴリ公」よりポロヴェツ（鞭鞭）人の踊り	若林 慧磨
		○	さくらさくら幻想曲	山田 桜礼
		○	ラデツキー行進曲	岸 彩乃
	アンサンブル部門A	○	ミュージカル「ライオン・キング」より ～加賀伝統の旋律（しらべ）とともに～	大正琴アンサンブルことふれんど ジュニアアンサンブル
		○	もののけ姫	サンシャインNAKOSO 2
		○	交響組曲「ドラゴンクエストⅠ」	峰山地域公民館キッズハーブ
		○	船頭小唄	伊豆琴慧会 ティアレ
	アンサンブル部門B	○	歌えバンバン	イナガキッズ
		○	高嶺の花子さん	ドリーム娘
		○	青い山脈	上州六人組
		○	怪物	アンディーズ
		○	銀河鉄道999（THE GALAXY EXPRESS 999）	シン・春の会
		○	ラデツキー行進曲	住田町立世田米中学校
銀賞	ソロ部門A		カントリー・ロード	清水 祭
			にじ	川原 由衣
			大きな古時計	白鳥 杏果
			虫の声	多田 明音
			翼をください	藤池 美心
			いつも何度でも	成尾 知聖
			翼をください	森田 真鈴
			手のひらを太陽に	高須 一華
			祇園祇園小唄	白鳥 栞菜
			明日があるさ	田中 泰牙
			私からあなたへ	田中 咲希
			季節の中で	山田 彩葉
		ムーンライト伝説	羽藤 瑞悠	
	ソロ部門B		チャルダッシュ	岡崎 咲那
	アンサンブル部門A		かえるのうた	RとY@小黒恵子童謡記念館
			マクドナルドおじさん	あいのきっずB
			ふしぎなポケット	あいのきっずA ※
			軍隊行進曲	キッズ・サウンドK
			崖の上のポニョ	ザ・フラワーズ
		「アイラブユー」	キーハーブクラブJr.	
アンサンブル部門B		少年時代	大分東明高校商業科介護福祉コース1年 ※	

・部門の説明（年齢基準日 令和5年4月1日*）

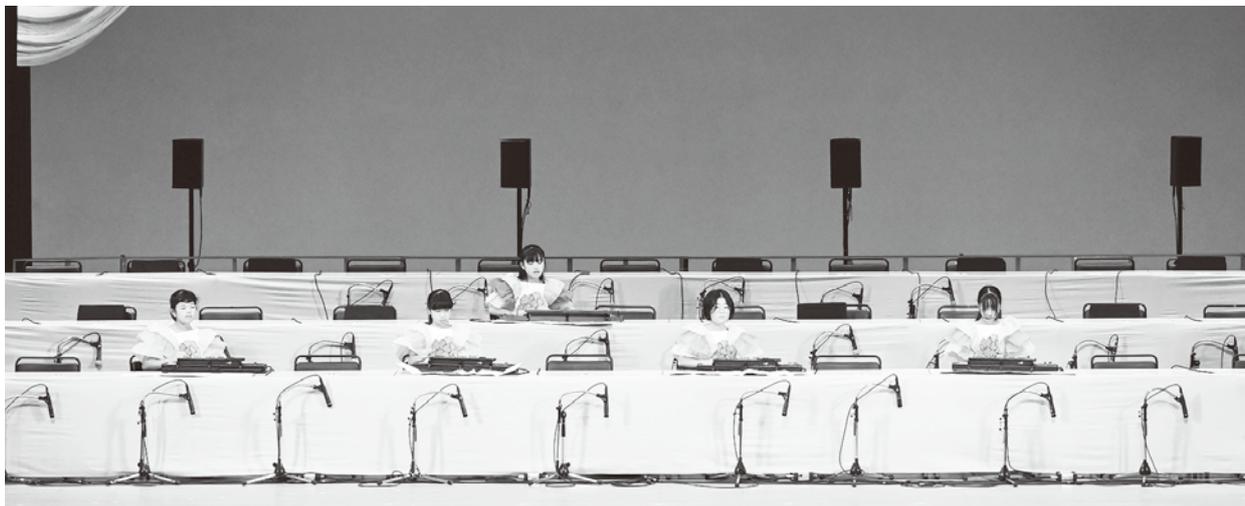
A 平均年齢が12歳以下の出演者

B 平均年齢が12歳を超える出演者

※ 令和5年3月末日までに収録したビデオで応募した場合は、応募時の学年

・「本選」欄に○のある個人・グループ計16組が国民文化祭「大正琴の祭典」の最終選考会に出場

・同じ賞の表示順は最終選考会出場者を先にした年齢（平均年齢）の小さい順



演奏の様子



最終選考会出演者

令和6年 全国子供大正琴コンクール出場者募集

令和6年全国子供大正琴コンクールは、昨年に引き続き国民文化祭の事業の一環として行われることになりました。

お送りいただいたビデオ映像にて一次選考会を行い金賞・銀賞・銅賞を選定し、その中の成績上位者の方に「大正琴の祭典」子供の部（コンクール最終選考会）にご出演いただきます。

コンクールへの参加は大正琴を習う子供たちにとって大きな目標になります。演奏レベルは問いませんのでお気軽にご応募ください。

開催日：令和6年10月20日(日)

会場：長良川国際会議場 さらさ〜ら メインホール（岐阜市）

部門：ソロ部門、アンサンブル部門

表彰：金賞・銀賞・銅賞・文部科学大臣賞（予定）

参加費：無料

参加対象：18歳以下の子供

※最終選考会出演者へ一部交通費の補助があります。

※詳細は当法人へお問い合わせください。

会員たより

縁を再び!!

琴、菊花煌めきの会

家田眞知子

琴、菊花煌めきの会は、琴生流家元加藤昭代亡き後に、琴生流本部所属の菊八重、福岡の花音、山口煌めきの会のメンバーが集結し再出発した会です。

令和3年大正琴協会に縁を頂き加盟しました。20年程前協会に在籍中には色々な行事に参加演奏させて頂いていたのですがもう無理だと諦めていた舞台縁を機に全国国民文化祭（宮崎県、和歌山県、石川県）大正琴協会30周年記念演奏会にも参加出来た事この上ない喜びを得ました。

ご縁を大切にこれからもみんなで一步一步、一音一音亡き家元の教えを胸に大正琴の音色を後世に伝わって行くよう日々精進して行きます。



今後の予定

○第12回通常総会

日 時：令和6年6月5日(水)

会 場：名古屋市内（未定）

○第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭「清流の国ぎふ」文化祭2024

「大正琴の祭典」

- 一般の部（愛好者の皆様の演奏）
- 子供の部（令和6年全国子供大正琴コンクール 最終選考会）

日 時：令和6年10月20日(日)

会 場：長良川国際会議場 さらさ〜ら メインホール（岐阜市）

入場料：無料

編集後記

昨年は5月にコロナ感染症も第5類に移行されてから、私達の生活にも明るさが戻り、大正琴のイベントも各地域で復活して来ました、大正琴協会も11月の秋の国民文化祭、12月には協会創立30周年記念演奏会も盛大に開催されました。しかしながら今年1月1日に北陸地方を襲った大震災は多大なる被害が起きました。被災された皆様には1日でも早く元の生活に戻れるように、お祈り申し上げますと共に、我々も大正琴音楽を通じて少しでも復興支援に活動を行なっていきたいと思っております。

編集担当 常務理事 岡本浩二